

中小企業成長支援ファンド
「グロービス7号ファンド投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（中小企業成長支援ファンド）において、グロービス7号ファンド有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として40億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

『グロービス7号ファンド投資事業有限責任組合』は、投資戦略として“First to Last”を掲げ、シードからレイターステージまで継続的に投資・サポートを行い、日本からユニコーン・デカコーン企業を生み出すことを目指しています。

中小機構では、本出資を通じて、日本の新たな産業創造と日本発グローバルユニコーン企業輩出の後押しをすることで、日本経済の活性化につながるものと考えております。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：荒木、大穂）

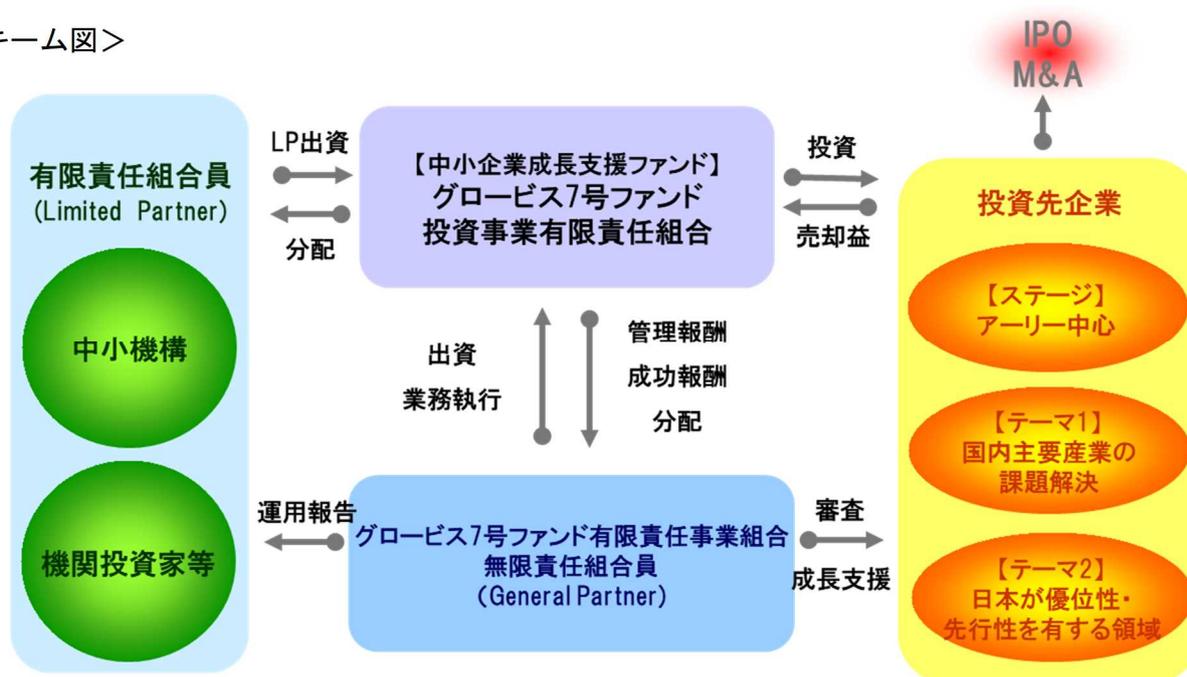
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「グロービス7号ファンド投資事業有限責任組合」の概要

- 「グロービス7号ファンド投資事業有限責任組合」は、グロービス7号ファンド有限責任事業組合を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。並行して設立したファンドを含めたファンド総額は700億円超（12月30日時点。最終クロージングは2023年3月末予定。）になります。
- 国内主要産業の課題解決やアップデート（DX化等）に寄与するもの、グローバルNo.1のポテンシャルを秘めたテーマに取り組む企業への投資により、日本を代表するスタートアップを創出することを狙いとしています。
- グロービス7号ファンド有限責任事業組合は、グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社（代表取締役：堀義人 本社：東京都千代田区）を中心として、本組合の組成に伴い設立されました。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf